平成２５年第１回定例会　　施　政　方　針

平成２５年第１回印西市議会定例会の開催に際し、平成２５年度の予算をはじめ、これに関連する議案のご審議をお願いするに当たり、私の市政に関する所信を申し上げ、議員各位をはじめ、広く市民の皆さまのご理解とご賛同を賜りたいと存じます。

はじめに、私が市長に就任し、早くも半年が過ぎました。

私は３７年間にわたって市議会議員として、「市民からいただいた血税を使って様々な施策を行う執行部に対し、常に市民の立場になって、市民のためになるかどうか、また、無駄にお金が使われていないかどうか、きちんと活かしたお金の使い方をしているのかどうかを監視するのが議会である」との考えのもと、是は是、非は非、の姿勢で行動してまいりました。

市長になった今でも、この基本的な考え方に変わりはなく、「市民からいただく貴重な税金を無駄使いせず、子育て・福祉・教育といった市民のための施策に還元する。」ことを市政運営の理念として、市民の声にしっかりと耳を傾け、とことん市民目線で各施策に取り組んでいるところでございます。

中でも、私の最大の選挙公約である、クリーンセンター次期中間処理施設の９住区への移転計画白紙撤回については、昨年１１月に環境整備事業組合に正式に申し入れを行い、今後は、同組合において、あらためて次期処理施設の整備を進めていくことになると同時に、市においてもゴミの減量化を強力に推進していくことが重要だと考えております。

また、東日本大震災の傷跡として、放射線の問題も解決に至ってはおらず、未だ市民の中には不安もありますので、できうる限りの対応に努めているところでございます。

さて、本年は、将来都市像を「ひと　まち　自然　笑顔が輝く　いんざい」として掲げる印西市総合計画の第１次基本計画の２年目にあたります。将来都市像の実現には、計画的な行財政運営が不可欠であり、持続可能な財政基盤の確立を目指し、行財政改革を推進していくことが重要であると考えております。

我が国の経済情勢は、昨年暮れの政権交代を機に、円高修正が進み、株価も回復傾向を見せ始めております。また、政府も年明け早々に、日本経済再生に向けて、「日本経済再生に向けた緊急経済対策」を閣議決定し、大胆な金融政策、機動的な財政政策、民間投資を喚起する成長戦略の「三本の矢」で、長引く円高・デフレ不況から脱却し、雇用や所得の拡大を目指すとしております。これらのことから、景気回復への期待が高まってきているところですが、現時点では、依然として厳しい状況であることに変わりはありません。

このような経済情勢のもと、当市の財政状況は、歳入面では、引き続き景気の低迷による税収の伸び悩みが懸念されることに加え、合併に伴う普通交付税の特例措置分が、平成２７年度から平成３１年度にかけて段階的に削減され、現状の歳入確保が極めて厳しくなると見込まれているところです。

一方、歳出面では、特別会計などへの繰出金の増加や扶助費、物件費、補助費等の経常的経費の負担が年々増加しております。

このように、当市としても依然として厳しい財政状況にある中、各会計及び水道事業会計を合わせた平成２５年度当初予算の規模は、対前年度比４．３％増の４６６億２千５７４万４千円でございます。

この度の予算編成に当たっては、経常的経費の削減をすることで、将来にわたり財政の安定と健全性の確保を図るため、限られた財源の適正配分に努めるとともに、各事業について、実施効果を十分に検証し、総体的には市民サービスの向上に資することを念頭に、予算を編成いたしました。

なお、平成２５年度予算の詳細につきましては、予算審議の際にご説明申し上げますので、ご了承願います。

それでは、平成２５年度の主要事業の概要につきまして、基本構想の６つの基本目標に沿って申し上げます。

はじめに、「恵まれた自然の中でやすらぎを持って生活できるまちをつくる」では、現在見直しを行っております環境基本計画の推進事業とともに、ごみの減量化・再資源化推進事業を推し進め、市民・事業者・行政が連携・協働し、環境負荷の低減に資する循環型社会を目指してまいります。

また、引き続き太陽光発電システム等設置費補助事業、合併処理浄

化槽設置補助事業、不法投棄の対策を推進し、環境保全に努めてまいりますとともに、千葉ニュータウン２１住区公園整備事業として、自然環境に配慮した公園整備を進め、うるおいのあるまちづくりを進めてまいります。

さらに、防災対策として、災害発生時等に的確に情報を伝達する手段である防災行政無線の整備を行う防災情報システム整備事業や、地域防災計画の改訂に伴い防災マップ、ハザードマップを各世帯に配布する防災意識啓発事業、防災倉庫等を計画的に整備する災害応急資機材整備事業、防犯対策として、市内犯罪発生情報の提供、防犯カメラの設置、防犯灯の整備促進など、安全で安心なまちづくりを推し進めてまいります。

次に、「やさしさを持っていきいきと暮らせるまちをつくる」では、近年増加する保育園待機児童の解消を目指し、保育需要に対する受け皿の拡大や、病児・病後児保育等の各種保育サービスの充実を図るため、保育園運営に要する経費、民間保育園の助成を拡充するとともに、保育園施設改修事業として、保育園の保育室に空調設備を設置し、良好な保育環境づくりに努めてまいります。

また、安心して子育てができる環境づくりとして、中学校３年生までの子ども医療費助成事業を引き続き実施してまいります。

さらに、市民のだれもが住み慣れた地域で元気に生活することができるよう、介護予防事業や、がん検診事業、予防接種事業を引き続き実施してまいります。

次に「地域の持つ可能性を活かした魅力あるまちをつくる」では、農業振興として、農業従事者の高齢化や担い手不足が深刻化する中で、新たに農業を始める方を支援する新規就農促進事業を推し進めると共に、地産地消推進事業や産業まつりを実施し、地元農産物の消費拡大やブランド化を推進してまいります。

また、当市の地理的優位性を活かした企業誘致推進事業、中小企業の経営基盤の安定強化を図るための中小企業資金融資事業、商工会と連携した地域商工業の活性化を図るための商工振興対策事業などにより、活力と魅力あるまちづくりを推し進めてまいります。

次に「健やかな心と体を育み未来を拓くまちをつくる」では、学校教育として、きらり輝く印西の子供育成事業を引き続き実施するとと

もに、老朽化した学校施設の耐久性を維持し安全で快適な学校生活を確保するための小中学校の施設整備改修事業、２１住区小学校等施設整備事業では小学校新設の建築基礎工事に取り組んでまいります。

また、国際理解教育推進事業による各中学校区に１名ずつの外国語指導助手の配置や、教材整備費としては主に小中学校の情報環境の整備を進めてまいります。

さらに、文化財保護調査事業として、市内に残る有形・無形文化財の保護・活用を図るために、道作古墳群の整備などを進めるとともに、スポーツ振興としては、各種スポーツ教室の開催や、スポーツイベントの充実を図り、市民が気軽にスポーツに親しみ参加できる機会の拡大を図ってまいります。

次に「快適で暮らしやすい都市機能の充実した美しいまちをつくる」では、地域活性化の一環として、木下駅周辺においては中心市街地活性化基本計画及び印旛高校跡地活用基本計画に基づき、また小林駅周辺においては、小林地区活性化計画に基づき、それぞれの駅圏の地域特性を活かした市民主体のまちづくりを進めているところです。
平成２５年度は、小林駅の自由通路及び駅舎の橋上化に着手してまいります。

また、道路網の充実を図るため、住宅市街地基盤整備事業として、印西牧の原駅圏と小林駅圏を結ぶ市道００－０３１号線の整備、道路新設改良事業として、市道松崎・吉田線、安食ト杭中田切線の整備、２１住区道路整備事業として、環境に配慮した高機能区画道路の整備などを進めてまいります。

その他、印旛中央地区土地区画整理事業の促進や、木下地区、岩戸地区の公共下水道施設整備、木下・大森地区の雨水排水対策施設整備事業を引き続き進めてまいります。

なお、公共交通網整備促進事業として、市民の身近な交通手段である、ふれあいバスについては、印西市地域公共交通総合連携計画に基づき、利便性の向上を図るとともに、市内事業者と連携を図りながら、持続可能な市内公共交通のさらなる充実を目指してまいります。

また、北総線の運賃値下げについては、北総線の運賃値下げに係る合意書に基づき、北総鉄道運賃値下げ支援補助金を交付するとともに、白井市と連携を密にしつつ、沿線市、千葉県とも連携・協力しながら、北総線の値下げに取り組んでまいります。

次に「市民と行政がともに歩み健全で自立したまちをつくる」では、市民の皆さまへ的確な行政情報を提供し、行政の透明化や市政に対する関心度の向上に資するため広報紙の発行はもとより、ホームページの更なる充実を図るために新システム稼働に向けた準備を進めると共に、行政事務の効率化や庁内での情報共有を図るための公共施設間ネットワークの運用、また新たに公共施設で市民が利用可能となる無線ＬＡＮを整備し、災害時等における情報通信手段の拡充を図る情報基盤の整備を進めてまいります。

また、市民活動の推進及び活性化を図るため、市民活動支援事業、町内会等の設立や活動に対する支援、地区集会施設の整備・充実に係る建設費の補助などを行ってまいります。

以上、全部で４９事業にわたる平成２５年度予算の主要事業を縷々申し上げました。新たな将来都市像の実現に向け、これらの事業を重点的に推し進め、魅力あふれるまちづくりに、職員一丸となって取り組んでまいります。

結びに、只今申し上げました主要事業の他にも、クリーンセンター次期中間処理施設の問題、千葉ニュータウン事業の収束など、重要な政策課題もございます。

これらの重要課題につきましても、皆さまのご意見を伺いながら、関係機関に強く働きかけを行うなど、当市の将来を見据えた施策を「市民目線」で取り組んでまいりたいと考えておりますので、議員各位並びに市民の皆さまにおかれましては、より一層の市政へのご支援、ご協力を賜りますようお願い申し上げ、施政方針といたします。